

今回の先生



東京都市大学
工学部 原子力研究所
岡田 往子 先生

福島産の 食べ物を買おうか迷います。 買ってもいいの？

福島第一原子力発電所の事故から7年。
福島の食べ物は、どうなっているのか知りたいですよね。
原子力研究を専門とする岡田往子先生にお聞きしました。

ちょっと
気になるけど
買いたいカモ



質問者代表
いちなぎ さくらさん

Point 1

福島の食べ物は、安心して食べられるの？



福島にはお米や野菜、果物、海産物など、おいしい物がたくさんあります。しかし、2011年の福島第一原子力発電所の事故の影響で、規制値を超える放射性セシウムが一部の食品から検出され、福島県はすぐに、対策を実施しました。具体的には、農地から放射性物質を取り除く除染、放射性物質の農産物への吸収を抑える対策を行い、さらに放射性物質の検査も徹底しています。このため、お店で売られている食品は安心して食べられます。

Point 2

販売しているものって、 しっかり検査は してるの？

ぜんぶ
検査するのって
大変カモ



たとえばお米は、市場に出る前に全袋を検査しています。玄米のすべてを測定し、お店に並ぶのは検査に合格したものだけ。野菜などは細かく切り刻んで測定しています。同じ畑で採れた野菜の一部をサンプルとして、微量な放射能も測定できる検出器にかけて、しっかり検査をしています。基準値を超えたものは、産地ごとくに国が出荷制限を指示したり、県が出荷自粛を要請したりするため、基準値を超えた商品がお店に出ることはありません。

福島第一原子力発電所の事故後、原子力発電に対して不安をお持ちの方は多いと思います。中部電力はくらしに欠かせないエネルギーを安定的にお届けするという責務を持つ会社として、皆さまに「エネルギーのこと、そして浜岡原子力発電所の今」をお伝えしたいと考えています。「ミラエネだより」では、なるべくわかりやすく紹介することで少しでも多くの方にお伝えできればと思っています。



ミラエネコラム

放射性物質の基準値は、乳幼児にも配慮されています

年齢や性別によって、食べる量や体格、代謝のスピードは違います。それを踏まえて一般の食品中の放射性物質は、赤ちゃんから大人まで年代や性別ごとに上限値(限度値)が120~460ベクレル/kgに設定されています。

さらに、乳幼児を含めすべての世代に配慮し、上限値の最も厳しい値(120ベクレル/kg)を下回る「100ベクレル/kg」を、基準値としています。特に、お子さんが食べる機会が多い「乳児用食品」「牛乳」の基準値は、一般の食品よりもさらに厳しい「50ベクレル/kg」に決められています。



かもじろうの発見!



しっかり検査してるんだね。これなら安心して福島の食べ物が楽しめるかも~。

Point 3

世界各国と比較しても、検査基準が厳しいってホント?

まず、ベクレルという放射線の単位はご存知ですか? 簡単にお話ししますと、1秒間にどのくらい放射線を出すかという単位のことです。例えば5ベクレルというと、1秒間に5つの放射線を出すことになりま。日本の食品基準値は一般食品1kgで100ベクレルという基準値です。アメリカは1200ベクレル/kg、EUは1250ベクレル/kgです。日本の基準は非常に厳しいですね。もちろん、福島の食品も厳しい基準をクリアしたうえでお店に並んでいます。

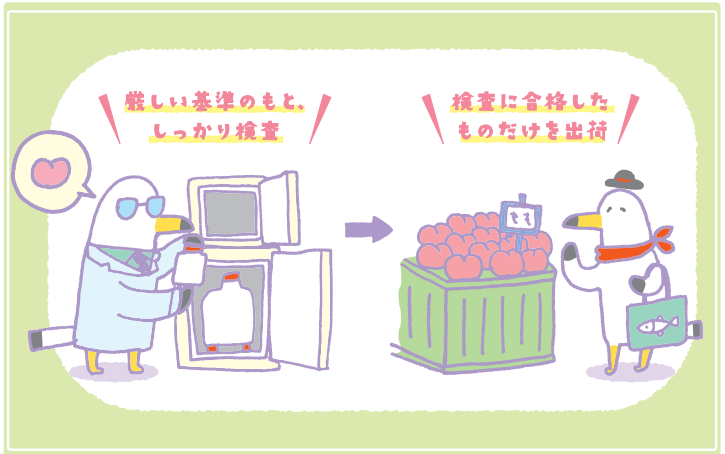
▶放射性物質の基準値の国際比較

単位:ベクレル/kg

放射性物質の種類	食品	日本	EU	米国
放射性セシウム	飲料水	10	1,000	1,200
	牛乳	50		
	乳児用食品	50	400	
	野菜・穀類	100	1,250	
	肉・卵・魚・その他			
	乳製品			

出典:(財)日本原子力文化財団「原子力・エネルギー図面集2016」より作成

基準値を下回った食品しか、売ってないんだね



中部電力

広報部 コミュニケーション推進グループ お問い合わせ:052-951-8211 平日9:00~17:00(土日祝、12/29~1/3は除く)